

# ロータリー財団

(The Rotary Foundation)



## ロータリー財団とは



ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。非営利組織であるロータリー財団は、ロータリアンをはじめ、より良い世界を築こうというビジョンを共有する財団支援者の方々からの自発的な寄付のみによって支えられています。



## 未来の夢計画

2005年4月に管理委員会は未来の夢委員会を設置しました。当時、金額の面で、ロータリー財団最大のプログラムはマッチング・グラントでした。1965年から2000年までの35年間で1万件のマッチング・グラントが実施されましたが、2000年から2004年までの5年間で1万件のマッチング・グラントが実施されたのです。また、プログラムの種類も多く、当時14種類もの財団プログラムがありました。



効果的に寄付金を使うために財団プログラムを見直す必要性が生じ、単なる援助でなく、持続性という観点が必要になりました。小さな事業を数多く実施するより、大きな事業に力を入れるほうが、費用効果が高いと考えられました。

未来の夢計画の骨子は、

使命：ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること

標語：『世界でよいことをしよう (Doing good in the world)』

ロータリー財団は、**地区補助金**、**グローバル補助金**、**パッケージ・グラント**の3種類の補助金を提供します。

新しい補助金構成は、以下を目的としています。

財団のプログラムと運営を簡素化すること。

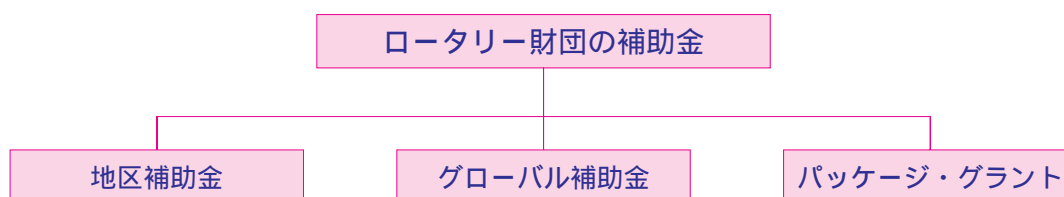
ロータリアンが関心を寄せる世界の優先ニーズに取り組むことによって、最大の成果が期待できる奉仕活動に焦点を絞ること。

世界的目標と地元の目標の両方を果たすためのプログラムを提供すること。

意思決定権をロータリー財団から地区に移行すること。

ロータリー財団の活動に対する理解を深め、ロータリーの公共イメージを高めること。

地区は、補助金を申請する前に参加資格認定を受けなければならないほか、グローバル補助金とパッケージ・グラントの申請を希望するクラブの資格認定を行う必要があります。



## 地区補助金

地区補助金は、ロータリアンが、地元や海外で財団の使命に沿った短期の活動やプロジェクトを実施するために活用できる補助金です。補助金は地区が管理し、一つまたは複数のプロジェクトに配分します。補助金を活用してプロジェクトを実施することを希望するクラブは、地区に資金を申請する必要があります。

各地区は、クラブからの申請方法や期日など、地区独自の手続きと方針を決めます。また、財団が定めている要件のほかに、地区が要件を追加する場合があります。申請に関する詳細は、地区ロータリー財団委員会にお問い合わせください。

## グローバル補助金

グローバル補助金は、以下に該当する大規模なプロジェクトに活用できる補助金です。

重点分野の少なくとも1つに関連している

実施地の地元社会の人々が特定したニーズに取り組む

実施地の地元社会の人々が積極的に参加する

ロータリー・クラブや地区による活動の終了後も、地域社会の人々が自力で取り組んでいくことができる  
測定可能な成果をもたらす

## パッケージ・グラント

パッケージ・グラントは、ロータリーと戦略パートナーがあらかじめ大枠を設定したプロジェクトに、クラブや地区が参加するタイプの補助金です。

### パッケージ・グラントによる活動

グローバル補助金と同様、パッケージ・グラントもロータリーの重点分野に該当する活動（人道的プロジェクト、奨学金、職業研修チーム）に充てられます。ただし、パッケージ・グラントではプロジェクトの枠組みがあらかじめ定められており、この点がグローバル補助金とは異なります。

ロータリーは現在、次の3団体と戦略パートナーの提携を結び、クラブや地区が参加できる活動オプションを提供しています。

アガ・カーン大学（看護学における奨学金、保健教育者への研修）

ユネスコ水教育研究所（水と衛生分野の奨学金）

マーシーシッパス（職業研修チーム、医療奉仕）

## 補助金体制における六つの重点分野

(Six Areas of Focus in the Grant Structure)

ロータリー財団管理委員会と国際ロータリー理事会は、未来の夢計画の一環として新補助金体制における六つの重点分野を承認しました。

平和と紛争予防 / 紛争解決

疾病予防と治療

水と衛生

母子の保健

基本的教育と識字率向上

経済と地域社会の発展





## 地区補助金とグローバル補助金

(Differences between District grants and Global grants)

一般に、グローバル補助金は規模や金額が大きく、補助金の管理、使途の報告、成果のモニタリングと評価にあたって、クラブと地区にさらに大きな責任が伴います。

地区補助金	グローバル補助金
国内、海外両方のプロジェクトに使えます。	名称の通り、海外のクラブや地区と協力します。
従来地区補助金を基盤としています。	従来マッチング・グラント、国際親善奨学金、研究グループ交換を包括しています。
地区が管理するblock grant（一括して授与される補助金）。地区の裁量で補助金を使えます。	競争制でロータリー財団が1件ずつ授与。但し、提唱者毎に10件まで（オープン・プロジェクトは10件ということです）。
1種類	1種類の補助金
ロータリー・クラブのない国や地域でも利用できます。	ロータリー・クラブのある国や地域に限定されています。
地区財団活動資金（DDF）のみ使用できます。	地区財団活動資金（DDF）と国際財団活動資金（WF）の両方を使用できます。
補助金の額に上限と下限はありません。地区の裁量です。	補助金は15,000ドルから200,000ドル パッケージ・グラント：20,000ドル以上
ロータリー財団の使命に関連があり、使命を守るものであること。ロータリーにふさわしいものであれば、プロジェクトの種類に制約がありません。	重点分野に該当するプロジェクトのみ。 平和と紛争予防／紛争解決 疾病予防と治療 水と衛生 母子の保健 基本的教育と識字率向上 経済と地域社会の発展
望ましくは18カ月以内に完了するプロジェクトまたは活動であること。	長期プロジェクト（奨学金を除き3～4年で完了すること）。



## ロータリーセンター

ロータリー・センター・プログラムは世界理解と平和という財団の使命を達成するために最優先される教育プログラムです。ポール・ハリス没後50周年と財団の教育的プログラム創設50周年を記念して、財団管理委員会は、国際関係を研究するためのロータリー・ポール・ハリス・センター設立計画を立てました。これは異なる地域の評価の高い八つの大学と提携して行われる計画でした。どの大学も、世界問題、紛争解決、国際的研究などで優れた教育課程と教授陣を備えています。

2000年10月の管理委員会決定により、「紛争の解決と平和における国際問題研究のためのロータリー・センター」（長い名称ですので、通常ロータリー・センターと略しています）と名称を変えました。

2005年2月の管理委員会決定により、世界平和奨学金（World Peace Scholarship）の名称を世界平和フェロシップ（World Peace Fellowship）に改正しました。奨学生（Scholar）は、フェロー（Fellow）となりました。さらに2009年10月の管理委員会決定で、一般向けには、ロータリー平和フェローとロータリー平和センターと言う名称を使うことを決定しました。当初7センターで始まったプログラムですが、廃止、新設もあり、現在残っているのは4センターだけになりました。



## ポリオ・プラス



ロータリーは1979年に初めてポリオのプロジェクトに携わりました。フィリピンの600万の児童にポリオの予防接種をするという5ヵ年間の誓約でした。これが、保健、飢餓追放および人間性尊重（3-H）プログラムの最初のプロジェクトで、国際ロータリーの75周年基金から補助金が授与されました。

1980年代初めに、ロータリーは史上最も意欲的なプログラムを計画し始めました。世界中の児童にポリオの予防接種をしようというプログラムです。ロータリーは、故アルバート・セービン博士の助言と支援を得て、1985年にポリオ・プラス・プログラムを設けました。ポリオと共にハシカ、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の5つをプラスして、同時追放を目的としているためポリオ・プラスと呼んでいましたが、ポリオ・プラスの『プラス』は最初の頃と意味と変わってきました。現在は、世界的なポリオ撲滅運動がもたらした遺産のことを指しています。

1995年規定審議会においてポリオ・プラスの目標は西暦2000年までにポリオを一掃し、その後2005年までに、ポリオの撲滅を証明することが採択されました。



2002年4月より8,000万ドルの募金キャンペーン (Polio Eradication Fundraising Campaign PEFC) がスタートしました。

2007年11月にビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団は、ポリオ撲滅のため、ロータリーに1億ドルのチャレンジ・グラントを授与しました。チャレンジ・グラントとは、ロータリーがゲイツ財団の1億ドルと同額を集めることです。ロータリーは2008年1月1日より3年にわたり、新しい資金で1億ドル集めることを約束しました。そして2009年1月21日の国際協議会の席で、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団は、さらに2億5,500万ドルの追加寄付を発表しました。同財団の合計3億5,500万ドルの寄付に対して、ロータリー財団は2012年6月30日までに2億ドルを集めることに同意し、2億2,870万ドルを集めました。さらに同財団は、2018年までの5年間、ロータリーがポリオ撲滅に寄せる寄付に対して、ゲイツ財団が2倍の額を上乗せすることとなりました。(年間3,500万ドルまで)



## 1. ポリオ・プラスの目標

ポリオ・プラス・プログラムの目標は、ポリオの撲滅を世界的に証明することです。世界保健機関、世界証明委員会 (Global Commission on Certification)、ロータリーは、ポリオ撲滅という言葉や、野生株のポリオ・ウイルスの伝播をとめるという意味で用いています。

## 2. ポリオ撲滅活動における国際ロータリーの貢献

世界においてポリオ発生ゼロと証明されるまでには、全世界的なポリオ撲滅活動に対する国際ロータリーの寄付は約12億ドルに上るものとなりましょう。さらに、これまでにポリオ撲滅活動のために、各地のロータリー・クラブや地区から何百万ドルにも相当する『現物』の援助や、人的貢献がありました。特に意義深いのは、国際ロータリーが動員した多数のボランティアです。地元レベルでは、何十万人ものボランティアが、診療所で支援活動をしたり、または地域社会の人々を動員して予防接種やポリオ撲滅活動を実施したりしてきました。全体ではこれまでに百万人以上のロータリアンがポリオ撲滅活動の成功に貢献してきました。

## ポリオ・プラス・パートナー・プログラム (Polio Plus Partners Program)

1995年10月に発足したこのプログラムの目的は、ポリオ発生地域のロータリアンを援助し、以下の3つの極めて重要なニーズに目標を置き、ポリオの撲滅に必要な用具や補給品を提供することにあります。

全国予防接種日のための地域社会動員、ポリオ・ウイルス免疫所への援助、ポリオ担当役員・疾病専門医への援助活動。



## 財団学友 (Foundation Alumni)

ロータリー財団学友とは、元国際親善奨学生、元研究グループ交換チーム・リーダー

とチーム・メンバー、元ロータリー平和フェロー、元大学教員補助金受領者、元ロータリー・ボランティア（個人向け補助金/ボランティア奉仕活動補助金受領者）、世界社会奉仕助成金（Discovery Grant）で旅行したことのある人と定義されています。

さらに、グローバル補助金の参加者も財団学友と定義されることになりました。新地区補助金を通じて資金を得た人も、地区ガバナー、地区ロータリー財団委員長が、その氏名をロータリー財団に報告すれば、財団学友とみなされます。

2007年規定審議会で、ロータリー財団学友がロータリー・クラブ正会員となることが認められました。



## シェア・システム (Share System)

ロータリー財団は、災害救援、ポリオ・プラスなどを除いて、寄付金を直ちに使用せず3年間、運用します。

寄付金を半分にわけ、50%は、地区の裁量で使い、50%は、ロータリー財団が、所定の方針にのっとって使うというものです。50%対50%（当初は60%対40%）という比率は固定したのではなく、将来のニーズによって調整される場合もあります。

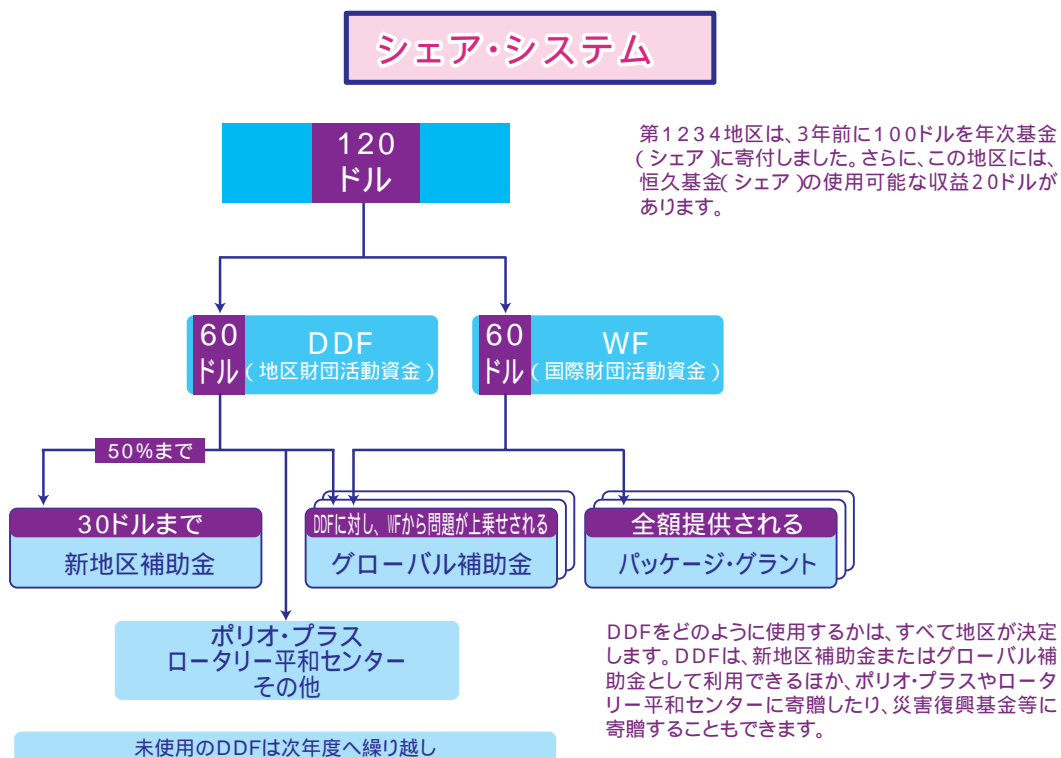
地区が用途決定に発言権をもっているのが、

地区財団活動資金 DDF District Designated Fund

ロータリー財団管理委員会がその用途を決定するのが、

国際財団活動資金 WF World Fund

未来の夢計画が全面実施されても、このシェア・システムは投資運用という面では変わりません。地区もクラブも、WFとDDFを使えます。





## ロータリー財団への寄付

寄付は大きく分けて3種類です。

1. 年次基金寄付
2. 恒久基金寄付
3. 用途指定寄付



### 1. 年次基金寄付 (Annual giving)

「年次」というのは毎年続けるということで、財団プログラムを存続させるための燃料の役割を果たしています。年次基金寄付は3年後のプログラムに使われます。

年次基金寄付を推進する世界的マーケティング計画として、Every Rotarian, Every Year (毎年あなたも100ドルを) が採択されました(2004年5月の管理委員会)。ひとりひとりが、毎年、寄付してほしいという計画です。

### 2. 恒久基金 (Permanent Fund)

恒久基金の寄付方法には、次のものがあります。

- 現金 (できれば年次寄付より多額の寄付)
- 遺贈友の会
- 年金

「恒久基金」は、この基金の本質的特徴を表現しています。つまり、元金を使わず、収益 (earnings) のみを使うということです。

### 3. 用途指定寄付 (Restricted Giving)

使い道を決めて寄付するものです。ポリオ・プラス、ポリオ・プラス・パートナー、グローバル補助金の提唱者側の寄付などです。

### 4. チャレンジ・ギフト (Challenge Gift)

年次寄付、恒久基金寄付、用途指定寄付どれにも共通するのがチャレンジ・ギフトです。

チャレンジ・ギフトをする人は次のように宣言します。誰か1,000ドル寄付すると言ったら、私も1,000ドル寄付します。別の人か2,000ドル寄付すると言ったら、また、私も2,000ドル寄付しましょう。こう言って挑戦するのです。これには上限を設けることができます。

### 5. メモリアル・コントリビューション (Memorial Contribution)

金額には関係なく、亡くなった人を記念して寄付した個人またはクラブのことです。この証書はロータリー財団から故人あるいは寄付者の名前で発行されます。米貨1,000ドルを寄付した個人、または、ある人の名義でその寄付が行われた場合、その名義人は、ロータリー財団のメモリアル・ポール・ハリス・フェローになったことが認められた証明書、メダル、襟章が贈呈されます。



## 寄付と認証 (Contribution and Recognition)

財団の使命とプログラムへの寄付に対しては、寄付者に分かりやすい形で、その寄付に感謝します。それが認証です。寄付者とすぐ分かるように着用できるピンなどを寄付者に贈ります。

寄付額は年々累計を算出します。

### 1. 「財団の友」会員 (Rotary Foundation Sustaining Member)

「財団の友」会員は、年次基金へ毎年100ドル以上寄付する人のことです。

### 2. ポール・ハリス・フェロー (PHF Paul Harris Fellow)

ロータリー財団の年次基金、ポリオ・プラス基金、WF、財団補助金の提唱者側負担分として1,000ドル以上寄付した人。対象は個人だけです。

### 3. マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (Multiple Paul Harris Fellow)

1,000ドル以上寄付した人は、その後1,000ドル寄付するごとにマルチプル・ポール・ハリス・フェローになります。

### 4. ベネファクター (Benefactor)

恒久基金に1,000ドル以上寄付したか、遺贈の受取人としてロータリー財団を指定したことを通知した人。

### 5. 遺贈友の会会員 (Bequest Society)

遺産計画を通じて1万ドル以上を寄付した人

### 6. メジャードナー：累積寄付の合計が10,000ドルに達した人。

レベル1：10,000～24,999ドル

レベル2：25,000～49,999ドル

レベル3：50,000～99,999ドル

レベル4：100,000～249,999ドル

### 7. アーチ・クランフ・ソサエティー (Arch C. Klumph Society)

現金の寄付累計が25万ドルを超えまると、アーチ・クランフ・ソサエティのメンバーとなり、メンバーの写真(8インチ×10インチ)が世界本部内のアーチ・クランフ・ギャラリー(以前の栄誉の殿堂)に飾られます。

### 8. ポール・ハリス・ソサエティー (Paul Harris Society)

ロータリー財団に毎年1,000ドル以上寄付する人がポール・ハリス・ソサイエティーの会員資格を有します。



## ロータリーカード (Rotary Card)

2000年9月に国際ロータリーは、クレジット・カード・プログラムを開始しました。世界全体で、2000年以來のロイヤリティーは総額約700万ドルに上ります。うち200万ドルはポリオ撲滅のために使われています。

カードで買物をしますと、ポイントがつきます。そのポイントを貯めて1,000ポイント[5,000円分]になりますと、そのポイントをロータリー財団に寄付できます。認証ポイントと違い、現金ですので、買物をした個人の年次寄付として実績に加算されます。

日本のロータリー・クレジット・カードで得たロイヤリティーは2012年6月まで日本の東日本大震災の復興活動に使われることになっています(2011年9月管理委員会決定)。皆さまがロータリー・カードを使う度に、被災者に助力できることになります。